

# 親子聖書日課

NO.1874 2024.8/25-31

名前

[日]「今日は忙しいから、明日にしよう」と、主に従うことを先送ってはいけません。明日が来るという保証はないからです。今日こそ、主が招いて下さった救いの日ですから、心を頑なにしてはいけません。主の声に聴き従って、救いを得ましょう。

[月]「聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ」ないで、権力や富にひれ伏す人がいます。そこから争いが起こります。私達は自分の救いに満足してはいけません。「世界中の人が真の主にひれ伏す」よう、日々「御救いの良い知らせを告げましょう」

[火]愛する家族ほど救いから遠いと思うことがあります。祈っても祈っても、中々主を信じてくれないからです。しかし、山のような頑なな心でも、神の力によって、ロウのように溶かされる時がきます。諦めてはいけません。主の光を輝かせましょう。

[水]主を賛美するのは、救われた人だけではありません。海も山も、造り主を賛美します。賛美は、主の御業に感謝して、それに応答することです。どんな時も、「主に向かって喜びの叫びをあげよ」とすると、力が湧いてきて、主の栄光が現れます。

[木]「主は聖なる方」ですから、当然、私達を聖なる人生へと招いています。その人生を自分のものにするためには、罪を告白して、主をあがめることです。そのために、「ひれ伏す」礼拝を捧げることです。礼拝から聖なる生活がスタートします。

[金]信仰者が喜び・感謝・賛美に溢れているのは、造り主なる神が私達を養って、万事を益とされることを知っているからです。「主こそ神である」と知っているからこそ、幸せな人生を送れます。御言葉と祈りによって、日々、主と交わりを深めましょう。



[土]人の人格の値打ちは、その家族を見ればわかります。よその人には親切でも、家族には冷たいという生き方は祝されません。ダビデは王になった時、家族を疎かにしたことに気づき、悔い改めました。「家にあつて無垢な心」を持ちましょう。

	聖書	問題	答え
日	詩編 95:1-11	今日こそ、何に聞き従わなければなりませんか。	
月	96:1-13	聖なる輝きに満ちる主にどうしなければなりませんか。	
火	97:1-12	山々は何のように溶けますか。	
水	98:1-9	全地よ、主に向って、何をあげるべきですか。	
木	99:1-9	我らの神、主はどのような方ですか。	
金	100:1-5	何を知るべきですか。	
土	101:1-8	私は家にあつてどんな心をもって行き来しますか。	
感想と祈りの課題			